

【2】結びつきやネットワークの強化に係る分野

政策（1）公共交通

住民生活の維持や観光振興を図る上で、公共交通の維持・充実は不可欠です。

生活圏を同じくする本圏域において、通勤、通学、買物、通院等、交通弱者の利便性などを考慮した地域公共交通ネットワークの構築を目指すとともに、圏域を横断する関西本線や近鉄大阪線を基軸とし、観光振興等による地域活性化を視点に入れた公共交通網の整備を目指します。

施策① 地域公共交通対策

期待される効果

高齢化が進展する中で、公共交通機関による利便性の高い移動手段を提供するものであり、幅広い年齢層の移動を容易にするとともに、新たな交流の創出や圏域外からの交流人口の増加を図り、地域の活性化につなげることができます。

事業No.	2111	事業名	鉄道網整備促進				
事業概要	大阪延伸が見込まれるリニア中央新幹線に係る情報を共有し、開業を見据えた地域全体の方向性を探ります。						
事業費 (千円)		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	903	802	622			
	笠置町	0	0	0			
	南山城村	0	0	0			
	山添村	0	0	0			
	名張市	—	—	—			
	計	903	802	622			
活用する補助金等							

事業No.	2112	事業名	関西本線電化促進				
事業概要	関西本線の I C カード利用可能エリアが拡大されたことを機に、さらなる利用促進に努めるとともに、駅舎の再生利活用や列車の魅力づくり、着地型観光の振興などについて鉄道事業者や府県等の関係機関と連携して取り組みます。						
事業費（千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	751	1,038	622			
	笠置町	39	39	39			
	南山城村	4,964	4,350	2,595			
	山添村	0	0	0			
	名張市	—	—	—			
	計	5,754	5,427	3,256			
活用する補助金等							

事業No.	2113	事業名	公共交通ネットワークの構築				
事業概要	ＪＲ関西本線、伊賀鉄道、近鉄大阪線、各路線バス及びコミュニティバス等を活用した、通勤、通学（特に府県をまたぐ高校通学の可能性）、買い物、通院に適したネットワークの構築を目指します。						
事業費（千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	215,118	214,484	221,404			
	笠置町	5,142	1,339	1,544			
	南山城村	7,918	8,001	8,078			
	山添村	25,757	24,392	50,113			
	名張市	—	—	—			
	計	253,935	248,216	281,139			
活用する補助金等							

政策（2）ICT・デジタル技術の活用

伊賀市・名張市は東海圏、笠置町・南山城村・山添村は関西圏に属することから、各自治体の情報は、それぞれの行政・経済圏域を中心に情報が発信されています。

このため、連携自治体を持つ情報発信ツールを活用することで、行政・経済圏域を越えた情報発信を行うとともに、圏域内においても情報共有を進め、相互交流の促進を目指します。

施策① 地域情報の共有化の推進

期待される効果

圏域内の情報交流により圏域全体への愛着が増すとともに、連携市町村間の交流促進につなげることができます。

事業No.	2211	事業名	広報紙連携				
事業概要	広報紙での連携市町村の情報交流を行います。						
事業費（千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	14,532	25,028	21,344			
	笠置町	485	693	768			
	南山城村	686	1,237	1,539			
	山添村	3,055	2,456	2,768			
	名張市	—	—	—			
	計	18,758	29,414	26,419			
活用する補助金等							

事業No.	2212	事業名	SNS 等連携				
事業概要	SNS やホームページ、ケーブルテレビを活用し、活字だけでなく動画も含め、圏域の情報を発信します。						
事業費（千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	49,936	46,127	46,092			
	笠置町	2,800	3,280	2,479			
	南山城村	0	0	514			
	山添村	0	0	0			
	名張市	—	—	—			
	計	52,736	49,407	49,085			
活用する補助金等							

政策（3）交通インフラの整備

圏域内には、幾つかの幹線国道が結んでおり、同盟会等による広域的な道路整備等に係る要望活動に取り組んでいます。

引き続き、広域的な視点による幹線道路や生活道路の整備により、物流の円滑化や住民の利便性の向上、また観光客の誘導等の視点による道路整備を目指します。

施策① 広域幹線道路等の整備促進

期待される効果

広域的な道路整備等に係る要望活動に取り組むことで、圏域住民の利便性の向上等を図ります。

事業No.	2311	事業名	道路整備				
事業概要	国道 163 号並びに名阪国道、国道 25 号、国道 368 号、国道 165 号など、圏域市町村が連携して国や府県へ要望等を行います。						
事業費（千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	150	150	150			
	笠置町	30	30	30			
	南山城村	50	50	50			
	山添村	30	30	30			
	名張市	—	—	—			
	計	260	260	260			
活用する補助金等							

政策（4）地産地消

自然豊かな本圏域では、多くの農産物等が収穫されます。

これらの農産物等を、それぞれの道の駅や地場産品直売所で提供しあうことや圏域内で生産される食材を学校給食で利用しあうこと、子どもたちに安全・安心な地元農産物の良さについての啓発活動を行うことで、地場産品の消費の拡大を目指します。

施策① 地産地消の推進と販路拡大

期待される効果

特産品の販売等により、地域内消費を拡大し、地域産業の振興を図ります。

事業No.	2411	事業名	交流促進施設維持管理				
事業概要	道の駅等の利用者に対し、お互いの特産品の販売・P R、観光等の地域情報の提供や、圏域外への共同出展などにより、地域産業の振興を図ります。						
事業費（千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	12,389	12,496	12,210			
	笠置町	0	0	0			
	南山城村	17,368	14,548	6,173			
	山添村	1,076	1,300	364			
	名張市	—	—	—			
	計	30,833	28,344	18,747			
活用する補助金等							

政策（５）地域内外の住民との交流

圏域外からの人の流れを創出するには、都市圏に在住する住民への情報発信・支援制度の拡充や、圏域住民がお互いの自治体を理解することも重要です。

このため、圏域間での施設の相互利用や市民活動団体等の交流を深め、さらには圏域の魅力を圏域外に広く発信し、定住人口の確保を目指します。

施策① 移住・交流施策の推進

期待される効果

圏域全体で取り組むことで、効果的・効率的な情報発信を行うことができ、関係人口の創出などにより、移住・交流が拡大します。

事業No.	2511	事業名	移住・交流				
事業概要	移住情報サイトに連携市町村のバナーを設け、相互に連携し移住希望者への PR・情報発信を行うとともに、圏域全体で移住希望者向けの PR イベントの開催などに取り組みます。また、移住者交流会を開催し、移住者と地域住民の圏域間での交流を深めます。						
事業費 （千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	39,976	47,201	45,486			
	笠置町	568	568	6,200			
	南山城村	17,007	14,186	16,249			
	山添村	10,873	10,750	12,500			
	名張市	—	—	—			
	計	68,424	72,705	80,435			
活用する補助金等							

事業No.	2512	事業名	関係人口創出				
事業概要	ふるさと納税などの取組を通じ、圏域の魅力を相互に発信し、新たな圏域ファン（関係人口）を創出します。						
事業費（千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	1,217,515	1,171,790	1,009,363			
	笠置町	701	1,129	1,777			
	南山城村	9,920	13,102	13,098			
	山添村	17,610	30,110	29,110			
	名張市	—	—	—			
	計	1,245,746	1,216,131	1,053,348			
活用する補助金等							

施策② 空き家の利活用

期待される効果

特定空家等*の発生を抑制するとともに、空き家を利活用し、圏域への移住者を増やすことができます。

* 特定空家等：倒壊のおそれや、衛生上の問題がある空家。

事業No.	2521	事業名	空き家等対策				
事業概要	連携市町村が連携し、空き家の利活用について P R するとともに、双方の空き家バンクに圏域内の空き家情報を掲載します。						
事業費 (千円)		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	38,640	18,858	43,687			
	笠置町	6,300	6,200	6,200			
	南山城村	3,030	2,985	3,171			
	山添村	20,779	17,352	17,180			
	名張市	—	—	—			
	計	68,749	45,395	70,238			
活用する補助金等		空き家対策総合支援事業等					

施策③ 公共施設の相互利用

期待される効果

圏域住民が連携市町村の施設を利用し合えることで、新規施設を建設することなく、圏域住民の利便性の向上が図れます。

事業No.	2531	事業名	公共施設の相互利用				
事業概要	連携市町村の各公共施設について、圏域地域住民が相互に利用し合える体制・システムをつくれます。						
事業費 (千円)		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	153,881	155,954	161,051			
	笠置町	0	0	0			
	南山城村	0	0	0			
	山添村	7,806	15,201	7,251			
	名張市	—	—	—			
	計	161,687	171,155	168,302			
活用する補助金等							

施策④ 交流拠点施設の活用などによる地域間交流

期待される効果

連携市町村や圏域内の事業者、団体等が交流することで、互いの結びつきが強まり、圏域全体の活力が創出できます。

事業No.	2541	事業名	地域間交流				
事業概要	圏域内の住民活動団体の取り組みを展示・情報発信し、住民間の交流を図ります。 圏域の将来を担う若者世代の交流を進めます。						
事業費 (千円)		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	4,739	3,348	3,858			
	笠置町	10	0	1			
	南山城村	65	34	40			
	山添村	1,050	2,050	50			
	名張市	—	—	—			
	計	5,864	5,432	3,949			
活用する補助金等							

【3】圏域マネジメント能力の強化に係る分野

政策（1）人材育成・交流

圏域の魅力ある地域づくりに向けた各種取り組みを進めていく上で、連携自治体の職員が連携を強め課題解決を図るとともに、職員の能力向上に取り組むことで、圏域のマネジメント能力の強化を目指します。

施策① 圏域内職員の人材育成

期待される効果

圏域内職員の資質向上並びに政策形成能力、マネジメント能力等の能力開発が図れるとともに、地域社会における人権教育・人権啓発の実践的リーダーの役割を担える職員を育成することができます。また、合同開催することにより、意見交換等の場ともなり、職員間の交流・連携が深まります。

事業No.	3111	事業名	職員合同研修				
事業概要	目的に合致する研修への参加対象を圏域全体の職員に拡大し、職務に役立つ有意義な研修への参加の機会を増やすことにより知識、見識を広め、職務遂行能力を向上させます。また、同和問題をはじめとするあらゆる人権課題の解決に向け、地域社会における「身近な市民の指導者」として人権教育・人権啓発の実践的リーダーの役割を担える職員を育成します。						
事業費（千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	3,311	3,663	3,209			
	笠置町	600	661	118			
	南山城村	361	360	535			
	山添村	700	700	700			
	名張市	—	—	—			
	計	4,972	5,384	4,562			
活用する補助金等							

政策（2）外部からの人材確保

圏域に共通する政策課題について、外部有識者からの助言を得ながら研究・検討することで、職員の資質向上を図るとともに、圏域内の連携を深めあうことを目指します。

施策① 専門的な知識経験を有する人材の確保

期待される効果

圏域の共通の政策課題について、より効果的に広域的な施策展開を図ることができ、圏域連携が深まります。

事業No.	3211	事業名	外部からの人材招へい				
事業概要	圏域に共通する課題について、それぞれの分野の専門的知識や多様な経験を有する人材を採用・招へいし、深刻化する人材不足問題に対応します。						
事業費（千円）		2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	計
	伊賀市	0	0	0			
	笠置町	0	0	0			
	南山城村	0	0	0			
	山添村	0	0	0			
	名張市	—	—	—			
	計	0	0	0			
活用する補助金等							

資料編

1. 伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

（設置）

第1条 定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第6に規定する定住自立圏共生ビジョン（以下「ビジョン」という。）を策定し、又は変更するに当たり、関係者の意見を幅広く反映するため、伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 懇談会は、ビジョンの策定又は変更に関することについて協議する。

（組織）

第3条 懇談会は、委員16人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 定住自立圏形成協定の取り組み事項に関連する分野の関係者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

（委員の任期）

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第5条 懇談会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長は、委員の互選によりこれを定め、副会長は、会長が指名する委員をもって充てる。

3 会長は、会務を総理し、懇談会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代

理する。

（会議）

第6条 懇談会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の者の出席がなければ開くことができない。

3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（庶務）

第7条 懇談会の庶務は、企画振興部総合政策課において処理する。

（委任）

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この告示は、平成28年11月14日から施行する。

（任期の特例）

2 この告示の施行の日以後最初に委嘱される委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。

（招集の特例）

3 この告示の施行の日以後最初に開かれる会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

附 則

（施行期日）

1 この告示は、令和元年10月8日から施行する。

（任期の特例）

2 この告示の施行の日以後最初に委嘱される委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、令和2年3月31日までとする。

2. 共生ビジョン懇談会委員名簿

【伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2016（H28）.11.28～2018（H30）.3.31

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	土山 希美枝	龍谷大学政策学部	副会長
2	全般	松田 克彦	三重県伊賀地域防災総合事務所	～H29.4.27
		岡村 順子		H29.4.28～
3	全般	中西 正和	京都府山城広域振興局	～H29.4.27
		姫野 孝宏		H29.4.28～
4	医療・福祉	奥田 詩織	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	
5	教育	上出 通雄	伊賀市社会教育委員	
6	産業振興	稲垣 八尺	一般社団法人伊賀上野観光協会	
7	産業振興	栗野 仁博	上野商工会議所	
8	環境・防災	奥 伸也	伊賀市消防団	
9	公共交通・情報	長澤 卓夫	西日本旅客鉄道株式会社	
10	住民交流	島井 不二雄	島ヶ原地域まちづくり協議会	会 長
11	笠置町	仲北 悦雄	笠置町区長会	
12	笠置町	中西 隆夫	一般社団法人観光笠置	
13	南山城村	安場 昭和	社会福祉法人南山城村社会福祉協議会	
14	南山城村	大仲 順子	南山城村人権擁護委員	

【伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2018（H30）.4.1～2019（R元）.10.7

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久 隆 浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	岡村 順子	三重県伊賀地域防災総合事務所	～H31.4.15
		河 治 希		H31.4.16～
3	全般	姫野 孝宏	京都府山城広域振興局	～H31.4.17
		辻村 徳夫		H31.4.18～
4	医療・福祉	奥田 詩織	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	
5	医療・福祉	高本 昌平	南山城村社会福祉協議会	
6	教育	上出 通雄	伊賀市社会教育委員	
7	産業振興	稲垣 八尺	一般社団法人伊賀上野観光協会	
8	産業振興	中西 隆夫	一般社団法人観光笠置	
9	環境・防災	奥 伸也	伊賀市消防団	
10	公共交通・情報	前川 徹	西日本旅客鉄道株式会社	～R元.5.31
		友田 明石		R元.6.1～
11	住民交流	島井 不二雄	島ヶ原地域まちづくり協議会	～R元.6.11
		松永 享二		R元.6.12～
12	笠置町	仲北 悦雄	笠置町推薦委員	副会長
13	南山城村	大仲 順子	南山城村推薦委員	

【伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2019（R元）.10.8～2020（R2）.3.31

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久 隆 浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	河 治 希	三重県伊賀地域防災総合事務所	
3	全般	辻 村 徳 夫	京都府山城広域振興局	
4	全般	米 田 学	奈良県南部東部振興課	R元.10.21～
5	医療・福祉	奥 田 詩 織	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	
6	医療・福祉	高 本 昌 平	南山城村社会福祉協議会	
7	医療・福祉	奥 谷 博 文	社会福祉法人山添村社会福祉協議会	R元.10.21～
8	教育	上 出 通 雄	伊賀市社会教育委員	
9	産業振興	稲 垣 八 尺	一般社団法人伊賀上野観光協会	
10	産業振興	中 西 隆 夫	一般社団法人観光笠置	
11	環境・防災	奥 伸 也	伊賀市消防団	
12	公共交通・情報	友 田 明 石	西日本旅客鉄道株式会社	
13	住民交流	松 永 享 二	島ヶ原地域まちづくり協議会	
14	住民交流	仲 北 悦 雄	笠置町推薦委員	副会長
15	住民交流	大 仲 順 子	南山城村推薦委員	
16	住民交流	神 保 弘 治	山添村推薦委員	R元.10.21～

【伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2020（R2）.4.1～2022（R4）.3.31

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久 隆 浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	河 治 希	三重県伊賀地域防災総合事務所	～R3.8.30
		中 嶋 中		R3.8.31～
3	全般	湯 瀬 敏 之	京都府山城広域振興局	
4	全般	米 田 学	奈良県南部東部振興課	
5	医療・福祉	奥 田 詩 織	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	
6	医療・福祉	高 本 昌 平	南山城村社会福祉協議会	
7	医療・福祉	奥 谷 博 文	社会福祉法人山添村社会福祉協議会	
8	教育	岩 佐 絹 江	伊賀市社会教育委員	
9	産業振興	稲 垣 八 尺	一般社団法人伊賀上野観光協会	
10	産業振興	松 井 克 夫	笠置町商工会	
11	環境・防災	杉 本 佳 也	伊賀市消防団	
12	公共交通・情報	友 田 明 石	西日本旅客鉄道株式会社	～R3.12.27
		宮 原 宏 規		R3.12.28～
13	住民交流	松 永 享 二	島ヶ原地域まちづくり協議会	
14	住民交流	仲 北 悦 雄	笠置町推薦委員	
15	住民交流	大 仲 順 子	南山城村推薦委員	副会長
16	住民交流	神 保 弘 治	山添村推薦委員	

【伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2022（R4）.4.1～2024（R6）.3.31

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久 隆 浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	藤 井 理 江	三重県伊賀地域防災総合事務所	～R5.5.8
		辻 上 浩 司		R5.5.9～
3	全般	湯 瀬 敏 之	京都府山城広域振興局	～R4.5.25
		足 立 操		R4.5.26～
4	全般	大 西 勝 治	奈良県南部東部振興課	
5	生活機能	野 田 守	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会	～R5.5.17
		吉 田 文 江		R5.5.18～
6	生活機能	岩 佐 絹 枝	伊賀市社会教育委員	
7	生活機能	稲 垣 八 尺	伊賀上野観光協会	
8	生活機能	杉 本 佳 也	伊賀市消防団	
9	生活機能	松 井 克 夫	笠置町推薦委員	
10	生活機能	奥 田 詩 織	南山城村推薦委員	
11	生活機能	中 西 義 樹	山添村推薦委員	
12	結びつき	松 永 享 二	島ヶ原地域まちづくり協議会	
13	結びつき	宮 寄 康 広	笠置町推薦委員	
14	結びつき	大 仲 順 子	南山城村推薦委員	副会長
15	結びつき	奥 谷 正 美	山添村推薦委員	

【伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会】

2024（R6）.12.24～2026（R8）.12.23

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久 隆 浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	辻 上 浩 司	三重県伊賀地域防災総合事務所	
3	全般	島 田 和 幸	京都府山城広域振興局	
4	全般	大 西 勝 治	奈良県美しい南部東部振興課	
5	分野別関係者	中 浦 順一郎	伊賀市推薦委員（伊賀上野観光協会）	
6	分野別関係者	川 向 啓 造	伊賀市推薦委員（伊賀市商工会）	
7	分野別関係者	杉 本 佳 也	伊賀市推薦委員（伊賀市消防団）	
8	分野別関係者	東 達 廣	笠置町推薦委員	
9	分野別関係者	谷 本 友 紀	笠置町推薦委員	
10	分野別関係者	大 仲 順 子	南山城村推薦委員	副会長
11	分野別関係者	奥 田 詩 織	南山城村推薦委員	
12	分野別関係者	奥 谷 正 美	山添村推薦委員	
13	分野別関係者	中 西 義 樹	山添村推薦委員	
14	分野別関係者	時 枝 民 生	名張市推薦委員	
15	分野別関係者	我 山 博 章	名張市推薦委員	

3. 共生ビジョン策定及び変更経過

幹事会
 推進協議会
 共生ビジョン懇談会

年 月 日		内 容
2015 年 (平成 27 年)	5 月 19 日	市議会議員全員協議会【伊賀市】 伊賀市を中心市とする定住自立圏の形成について
	6 月 16 日	市議会総務常任委員会所管事務調査【伊賀市】
	6 月 24 日	市議会議員全員協議会【伊賀市】 定住自立圏構想中心市宣言
2016 年 (平成 28 年)	5 月 10 日	定住自立圏関係会議【伊賀市・笠置町・南山城村】
	5 月 20 日	市議会議員全員協議会【伊賀市】 伊賀市を中心市とする定住自立圏の形成について
	6 月 16 日	伊賀・山城南定住自立圏 推進協議会
	6 月	6 月定例会【伊賀市 6/27、笠置町 6/15、南山城村 6/27】 協定議案の議決条例の可決
	6 月	議員全員協議会【伊賀市 6/27、笠置町 6/23、南山城村 6/27】 定住自立圏の形成に関する協定書案について
	7 月 1 日～ 8 月 1 日	協定書案パブリックコメント募集 (意見提出者数：14 人、意見件数：21 件)
	8 月 2 日	伊賀・山城南定住自立圏 幹事会
	9 月	議会 9 月定例会【伊賀市 9/27、笠置町 9/21、南山城村 9/27】 定住自立圏の形成に関する協定書 可決
	10 月 4 日	伊賀・山城南定住自立圏形成協定 合同調印式
	10 月 4 日	推進協議会
	11 月 18 日	幹事会
	11 月 28 日	伊賀・山城南定住自立圏 共生ビジョン懇談会
	12 月 26 日	幹事会
2017 年 (平成 29 年)	1 月 5 日	共生ビジョン懇談会
	2 月 3 日	幹事会
	2 月 9 日	共生ビジョン懇談会
	2 月 23 日	幹事会
	3 月 15 日～4 月 14 日	伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン（中間案）パブリッ クコメント募集（意見提出者数：3 名、意見数：13 件）
	4 月 28 日	共生ビジョン懇談会
	5 月 18 日	共生ビジョン懇談会
	6 月 16 日	推進協議会 伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン策定
	9 月 25 日	幹事会

2017 年 (平成 29 年)	10 月 31 日	共生ビジョン懇談会
	12 月 19 日	幹事会
2018 年 (平成 30 年)	2 月 21 日	幹事会
	3 月 20 日	推進協議会
	3 月 29 日	共生ビジョン懇談会
	5 月 16 日	幹事会
	6 月	議会 6 月定例会【伊賀市 6/25、笠置町 6/12】 定住自立圏形成協定の一部変更について 可決
	6 月 25 日	定住自立圏の形成に関する協定書の一部を変更する協定 書 調印【伊賀市、笠置町】
	7 月 30 日	幹事会
	8 月 9 日	共生ビジョン懇談会
	10 月 10 日	推進協議会 伊賀・山城南定住自立圏共生ビジョン変更
2019 年 (平成 31 年/ 令和元年)	2 月 27 日	伊賀・山城南定住自立圏研修会 圏域の連携推進について
	4 月 10 日	幹事会
	4 月 23 日	推進協議会
	5 月 30 日～ 6 月 28 日	協定書案【伊賀市・山添村】パブリックコメント募集 (意見件数：0 件)
	6 月 21 日	幹事会
	7 月 4 日	共生ビジョン懇談会
	7 月 8 日	推進協議会
	9 月	議会 9 月定例会【伊賀市 9/30、山添村 9/25】 定住自立圏の形成に関する協定書 可決
	10 月 8 日	定住自立圏形成協定締結式【伊賀市・山添村】
	11 月 6 日	伊賀・山城南・東大和定住自立圏 幹事会
	11 月 15 日	伊賀・山城南・東大和定住自立圏 推進協議会
	11 月 22 日	伊賀・山城南・東大和定住自立圏 共生ビジョン懇談会
2020 年 (令和 2 年)	1 月 20 日	幹事会
	2 月 6 日	推進協議会
	7 月 8 日	幹事会
	7 月 20 日	共生ビジョン懇談会
	8 月 12 日	推進協議会
	8 月 12 日	幹事会

2021 年 (令和 3 年)	5 月 21 日	幹事会
	8 月 3 日	幹事会
	8 月 24 日	推進協議会
	8 月 31 日	共生ビジョン懇談会（※書面開催）
	10 月 20 日～ 11 月 22 日	第 2 期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（中間案）パブリックコメント募集 （意見提出者数：4 名、意見数：18 件）
	12 月 20 日	幹事会
	12 月 28 日	共生ビジョン懇談会
2022 年 (令和 4 年)	1 月 21 日	推進協議会 第 2 期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン策定
2023 年 (令和 5 年)	6 月 1 日	幹事会
	8 月 21 日	共生ビジョン懇談会
	9 月 26 日	推進協議会
2024 年 (令和 6 年)	7 月 10 日～ 8 月 16 日	伊賀市・名張市「定住自立圏の形成に関する協定書（案）」に係るパブリックコメント（ご意見）募集【意見提出者数：10 名、意見数：12 件】
	7 月 19 日	幹事会
	8 月 1 日	推進協議会
	9 月	議会 9 月定例会【名張市 9/27、伊賀市 9/30】 定住自立圏の形成に関する協定書 可決
	10 月 22 日	定住自立圏形成協定締結式【伊賀市・名張市】
	11 月 13 日	幹事会
	12 月 24 日	共生ビジョン懇談会
2025 年 (令和 7 年)	2 月 21 日	幹事会
	3 月 24 日	共生ビジョン懇談会
	○月○日～ ○月○日	第 2 期共生ビジョン（変更案）パブリックコメント募集 （意見提出者数：○名、意見数：○件）
	○月○日	幹事会
	○月○日	推進協議会 第 2 期共生ビジョン変更

4. 定住自立圏構想中心市宣言

定住自立圏中心市宣言

現在、わが国は、少子化や高齢化による本格的な人口減少社会に突入しており、特に地方においては、急速な少子化・高齢化に加え、都市圏への人口流出による大幅な人口減少が深刻な問題となっており、それぞれの地方自治体は、地域の特性を活かしたまちづくりを進めていくことが求められています。

古くから「伊賀の国」として知られる伊賀地域は、三重県の北西部に位置し、北は滋賀県、西は京都府・奈良県に隣接し、東は鈴鹿山脈と布引山地、西は大和高原などに囲まれた盆地で、淀川の源流域として自然環境に恵まれたところです。

また、当地域は、俳聖松尾芭蕉や江戸川乱歩の生誕地、観阿弥創座の地、横光利一、荒木又右衛門などのゆかりの地であるとともに、伊賀流忍者のふるさととしても知られており、当地域内だけでなく、府県を越えた近隣自治体とも歴史的・文化的・経済的に深い結びつきがあり、生活圏を共有しています。

今後、伊賀市や近隣自治体は、先人から受け継いだ数多くの宝をそれぞれの地域の潜在力として活かしながら、行政区域という垣根を越えた広域的な取り組みを進める必要があります。このため住民をはじめとしたあらゆる主体と連携・協力することにより、圏域全体で医療、福祉、教育、交通といった住民の暮らしに必要な生活機能を確保し、都市への人口流出を食い止め、定住人口の確保という新たな人の流れを創出していかなければなりません。

本市は、近隣自治体とともにそれぞれの地域資源や特性を活かし、互いに連携し、住民が安心して暮らせる圏域づくりを進めていくため、中心的な役割を果たす「中心市」となることをここに宣言します。

2015（平成 27）年 6 月 24 日

伊賀市長 岡 本 栄